



あげお 議会だより

発行/上尾市議会 編集/議会報編集委員会 〒362-8501 埼玉県上尾市本町3-1-1 電話 048-775-9467



みんながんばれ!! (大石小学校)

主な内容

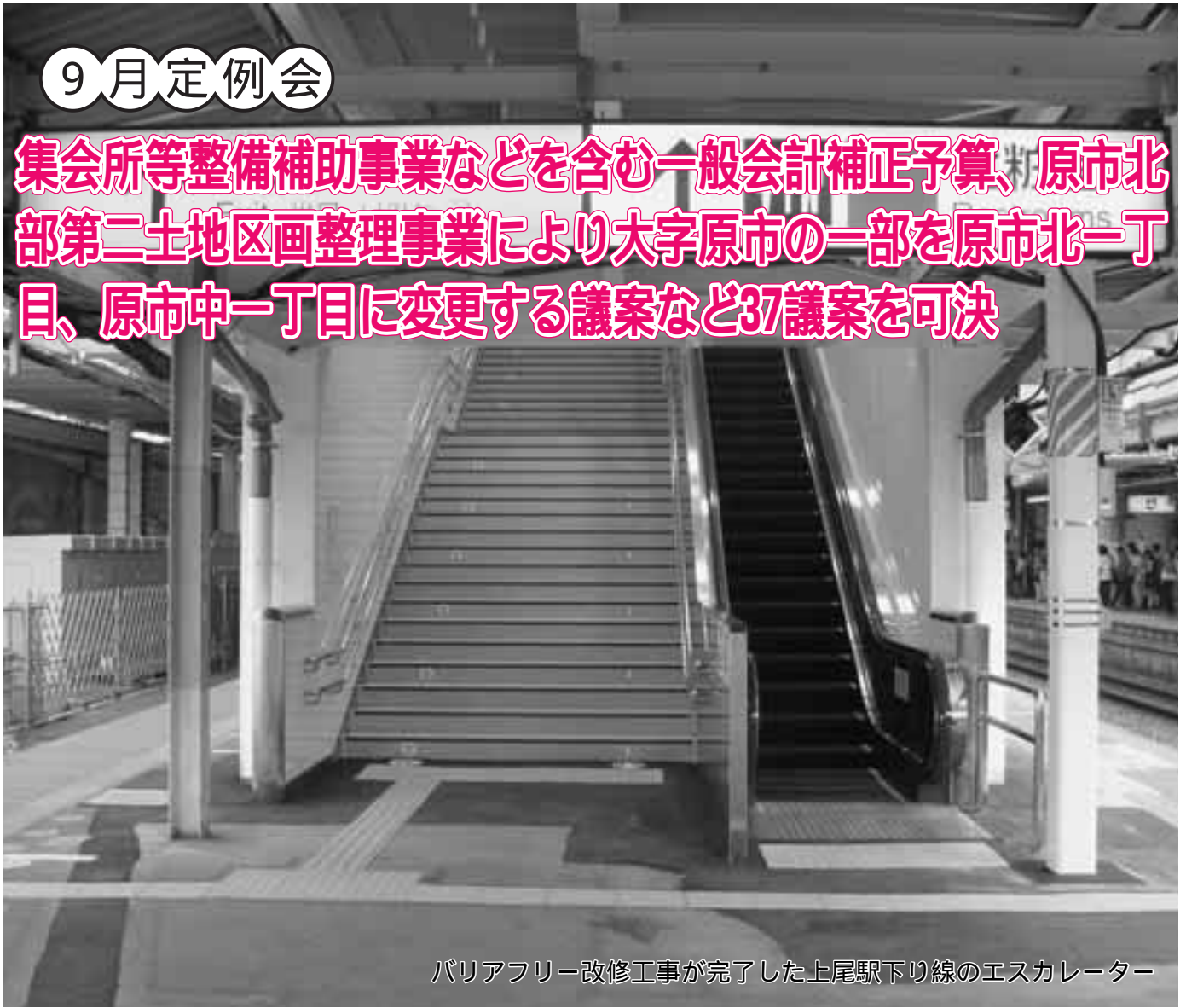
市長の提案説明.....	2 ~ 3 P
委員会の主な審査内容・討論.....	3 ~ 5 P
請願の結果・今議会で決まった人事.....	5 P
提出議案とその結果.....	6 P
市政に対する一般質問.....	7 ~ 11P
委員会活動、意見書、傍聴席からひとこと.....	12P

平成20年 9月定例会日程

- 9月3日.....開会、固定資産評価審査委員会委員の紹介、議案の上程、提出議案の説明、監査報告、議案第67号の採決、委員会提出議案の報告及び上程、採決
- 9月5日.....提出議案に対する質疑、決算特別委員会の設置、委員会付託
- 9月8日.....総務・建設水道常任委員会
- 9月9日.....文教経済・福祉消防常任委員会
- 9月11日.....一般質問
- 9月12日.....一般質問
- 9月16日.....一般質問
- 9月17日.....一般質問
- 9月18日.....一般質問
- 9月24日.....委員長報告、討論、採決、議員提出議案の上程、採決、閉会

9月定例会

集会所等整備補助事業などを含む一般会計補正予算、原市北部第二土地区画整理事業により大字原市の一部を原市北一丁目、原市中一丁目に変更する議案など37議案を可決



バリアフリー改修工事が完了した上尾駅下り線のエスカレーター

9月定例会で審議した議案は、市長提出議案が28件、議員提出議案が10件、委員会提出議案が1件の計39件で、うち37件を原案のとおり可決・同意・異議なき旨答申し、2件を否決しました。

市長の提案説明から

上尾市一般会計補正予算

今回の補正につきましては、繰越財源が確保できたことに伴い、それぞれ事業費を追加して計上したほか、新たな施策経費や事業費を計上しました。その結果、補正額は4億781万8,000円となり、累計予算額は513億1,276万6,000円となりました。

主な事業について説明しますと、**総務事業**のうち、集会所等整備補助事業は、宮の下区集会所新築に対する補助金を計上し、自主防災組織育成支援事業は、新たに原新町、堤崎、柏座一丁目の3事務区で自主防災組織が設立されることになったことにより補正計上したものです。

徴収事務事業は、平成21年度か

ら実施を予定している市税などのコンビニエンスストアでの収納に係るシステム改修経費です。

民生事業では、障害者自立支援制度の平成20年度の特別対策事業として、生活支援員を加配するなど支援体制を強化している共同生活介護（ケアホーム）事業所に、当該支援に係る経費を新たに助成する障害者自立支援等給付事業費などを計上しました。

土木事業では、道路改良や普通河川整備などの経費を増額計上しました。

回遊性のある道路ネットワーク整備事業は、上尾駅周辺地区で開発などの際には壁面後退をお願いしていますが、上町地内の2力所で地権者との間で合意が得られたため、安全な歩行空間を創出するための歩道整備に係る経費を計上しました。

消防事業では、消防水利整備事



9月定例会で提案説明する市長

業として、昭和49年度に原市地区の私有地に設置した公設の防火水槽を、地権者の要望により撤去する経費を新たに計上しました。

教育事業では、元気な学校をつくる地域連携推進事業は、いわゆる学校応援団に対し新たに県委託金が受けられることになったことから、学校応援団の更なる組織拡充を図るものです。また、県からの委託事業として、小学校就学前の子がいる親に対し家庭教育の重要性を再認識してもらったための講座を実施する、親の学習講座事業費を新たに計上しました。

以上が主な事業ですが、これらを賄う財源としては、繰越金や国県支出金などを見込みました。

上尾市国民健康保険特別会計補正予算

国民健康保険税の還付見込みによるほか、過年度国県支出金などの確定に伴い精算を行うものです。

上尾市介護保険特別会計補正予算

介護保険料の精算に伴う基金積立や国県支出金の過年度精算、一般会計への繰り出しをそれぞれ行うものです。

上尾市後期高齢者医療特別会計補正予算

後期高齢者医療制度に新たな保険料軽減措置が設けられたことに伴い、保険料変更決定通知などを対象者に送付するものです。

条例その他

二ツ宮の区域を新たに画することに伴う関係条例の整理に関する条例の制定については、二ツ宮の区域を新たに画することに伴い、関係条例について所要の改正を行う必要があることから、提案するものです。

地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定については、地方自治法の一部改正に伴い、関係条例について、議員に支給する報酬の名称を議員報酬に改めるなどの改正を行う必要があることから、提案するものです。

上尾市税条例の一部を改正する条例の制定については、本市の区域内において鉱泉浴場が開設される予定のあることから、入湯税の税率その他賦課徴収に関する事項を定めたいので、提案するものです。

上尾市長期継続契約を締結することができる契約を定める条例の制定については、翌年度以降にわたる契約である長期継続契約を締結することができる契約を定めたいので、提案するものです。

上尾市水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例の制定については、地方公営企業法等の規定に基づき、本市の水道事業に管理者を置かないものとしたいので、提案するものです。

議案第75号及び議案第76号の工

事請負契約の締結については、下水道施設である本山ポンプ場の電気設備及び機械設備を改築更新する工事について工事請負契約を締結するため、定めるところにより、提案するものです。

議案第77号財産の取得については、高規格救急自動車を取得するため、定めるところにより、提案するものです。

議案第78号財産の取得については、救助工作車を取得するため、定めるところにより、提案するものです。

町の区域を新たに画することについては、原市北部第二土地区画整理事業による道路などの整備により、新たに換地処分後の道路境界などをもって町の区域を画することとしたので、提案するものです。

上尾市土地開発公社の定款の変更については、市土地開発公社の定款について、民法及び公有地の拡大の推進に関する法律の一部改正に伴い所要の変更を行うほか、持ち回りの方法により表決を求めることができるよう規定を追加したいので、提案するものです。

禁止状の交付
選挙対のものをどつ禁
選にめのもなさは禁
は、者たも状いとす
家あるのる賀あこ
治あ礼よ年のす
区内答に筆き候出
し、筆き時を止
自除の状を止

委員会審査から

総務、文教経済、建設水道、福祉消防の各常任委員会は、付託された議案などを審査しました。以下、審査の過程で取り上げられた質疑の中から主なものについてお知らせします。

総務常任委員会

補正予算 宮の下区集会所の新築費を補助

予算メモ 上平地区の宮の下区集会所は築70年を経過しており老朽化が進んでいることから、今回新たな場所に新築するもの。補助額は建設費の半分の約1,300万円を計上。

委員 現在、他の地区で集会所の建て替えを希望しているところはあるか伺いたい。

答 要望書として上がっているのは、今泉地区と地頭方地区の2地区である。

補正予算 市税などをコンビニエンスストアなどで納入可能に

予算メモ 平成21年4月から市県民税、固定資産税、都市計画税、軽自動車税、国民健康保険

ホームページの会議録検索が新しくなりました

市議会ホームページでは議会の会議録の検索方法が新しくなり、より簡単に検索が可能になりました。市議会ホームページの「会議録の検索と閲覧」をクリックしていただくと上尾市議会会議録の検索と閲覧ページになります。

議案の審議内容や一般質問の内容など過去10年間の会議録が検索できます。なお、9月定例会の会議録は12月初めに掲載する予定です。詳しくは、議会事務局へお問い合わせください。議会事務局 (☎775-9467) <http://www.city.ageo.lg.jp/shigikai/>



税についてコンビニエンスストアで納入できるようにするためのシステム改修経費を計上。

委員 収納業務委託業者について、また具体的なコンビニエンスストア名について伺いたい。

答 収納できるコンビニエンスストアは、セブンイレブン、ローソン、ファミリーマート、サークルK・サンクス、ミニストップ、デイリーヤマザキ、エーエム・ピーエム、ポプラ、スリーエフ、セーブオン、ココストア、コミュニティ・ストアの12社（平成20年4月1日現在）であり、これらを取りまとめる収納代行業者が株式会社NTTデータである。

その他
大字原市の町名の一部を原市中一丁目、原市北一丁目に変更

メモ 原市北部第二土地区画整理事業は、平成21年8月ごろに換地処分を行う予定であり、これに伴い大字原市の一部の地域を原市中一丁目、原市北一丁目に変更するもの。

委員 今回変更される地域以外は、今後どのような計画になっているか伺いたい。

答 原市の地域は土地区画整理事業の推進予定区域が多くあることから、これらの進捗よく状況を勘案し、地域住民の意向を踏まえ、検討していく予定である。

文教経済常任委員会

補正予算
全ての小中学校に「学校応援団」を設置へ

予算メモ 学校・家庭・地域の連携をより強化するため「学校応援団」を全ての小中学校に設置する。地域全体で学校支援をい

ただきながら、学校の活性化を図ると共に家庭や地域社会の教育力の向上を目指すため実施するもの。
委員 すでに各小中学校に学校応援団が設置されているのか、また、各校に対する交付方法について伺いたい。

答 現在、学校応援団がある小学校は6校、中学校1校で、学校を支援する組織があるのは小学校10校、中学校5校である。また、交付金は上尾小学校を除く各小学校に6万9,000円、上尾小学校に3万8,000円（平成18年度、19年度にすでに予算配当済みのため）、各中学校に7万円を交付する予定である。

建設水道常任委員会

契約の締結
公共下水道汚水中継ポンプ場の電気、機械設備を更新

メモ 市内に7カ所ある公

共下水道汚水中継ポンプ場のうち、老朽化した本山ポンプ場の電気設備及び機械設備の改築更新工事を行うもの。

委員 稼動しながらの更新とのことだが、市民生活への影響はどうか伺いたい。

答 ポンプ場は常に稼動しているので、運転しながらの作業となる。3台あるポンプのうち1台は予備のため、1台ずつ更新を行っていくため問題ない。



更新予定の本山ポンプ場のポンプ

福祉消防常任委員会

補正予算
新たに自主防災組織が設立

予算メモ 原新町、堤崎に次いで粕座一丁目自主防災組織が設立されたため、自主防災組織設立交付金の経費を計上。

決算特別委員会を設置

議会では、委員8人で構成する決算特別委員会を設置し、平成19年度各会計歳入歳出決算認定議案7件を閉会中の継続審議としました。

委員会では、予算の執行状況などを審査し、結果は12月定例会で報告することとしました。

- 委員長 平野佳洋（新政クラブ）
- 副委員長 嶋田幸子（公明党）
- 委員 箕輪 登（新政クラブ）
- 委員 新井金作（新政クラブ）
- 委員 長沢 純（公明党）
- 委員 遠藤朝子（共産党）
- 委員 武藤 修（共産党）
- 委員 佐野昭夫（民主クラブ）

委員 この交付金はどのように使われているのか伺いたい。

答 主にヘルメットなどの器材購入に使われている。

委員 現在組織されている自主防災組織では、どのような事業を行っているのか伺いたい。

答 事務区ごとに防災訓練を行っている。消防署にも協力してもらいAED（自動体外式除細動器）などの救命講習や消火訓練などを行っている。また、市の総合防災訓練にも参加している。

財産の取得
原市分署の高規格救急車を新車に

メモ 現在原市分署に配備されている救急車が登録から10年を経過し、走行距離も13万キロメートルを越えていることから更新するもの。
委員 今回の救急車には、前に



配備予定車両と同型の救急車（大谷分署配備）

比べ新しい機器が搭載されているのか伺いたい。
答 特殊な機器は搭載されていない。どこに救命士が異動しても同じように車両活動できるように基本的には同じ器材を各車両に配備している。

反対討論

要旨

一般会計補正予算について、次の点で反対する。

動物と共生する社会を推進する議員連盟が発足

上尾市議会議員の有志で構成される「動物と共生する社会を推進する議員連盟」の設立総会が9月18日に行われました。

会長に田中守議長、顧問に島村穰上尾市長と藤倉勉上尾伊奈獣医師協会会長が就任し、「差別なく命を尊び、不幸な動物を少しでも減らせるように努力するとともに飼い主のモラルの向上を図り、そのことを通じて、やさしいまち、ひいては犯罪のないまちづくりのために人と小さな命が安心して共生できる社会を推進すること」を目的として活動していきます。



寄附を受ける田中守会長(左)と上尾伊奈獣医師協会の方々

設立に当たって、上尾伊奈獣医師協会から殺処分になる動物が少なくなることなどを願って、議員連盟に50万円が寄附されました。

市民税等賦課事業は、2009年10月から住民税を大引きするためのシステム等改修委託費用であり、年金生活者の方から容赦なく住民税を差し引くことは到底市民の納得を得られるものではない。よって年金大引きを具体化するためのシステム改修についても反対する。

上尾中山道東側地区市街地再開発事業は最近の鉄鋼、原油などの価格の高騰により建設費の上昇を見込んでのコストダウンのための設計変更など事業計画の変更がなされるとのことである。駐車場や駐輪場などによる交通渋滞が予想

されるが、再開発事業はビルを建てるのと同時に道路の整備などの面整備をきちんとする必要がある。今後示されるであろう新しい事業計画は将来的な見通しとして経済の先行きに不透明性があり、さらにビルの谷間風などによる風害、景観、駅周辺の交通渋滞などまちづくりの観点からもこの事業計画そのものに反対し今回の補正予算に反対する。

上尾市土地開発公社の定款の変更について、次の点で反対する。この変更は「理事長は、緊急の必要により会議を開催する時間的余裕がないときは、持ち回りの方

法により、各理事の表決を求めることができる」とするもので会議の重要な要素である意見交換、討論がなくても持ち回りの方法により出席したものとみなして決定できるとするものである。

これは公共用地などの取得管理処分などを行うという市民の財産管理の重責を担う理事会の会議を形骸化するものであり、会合して協議する事を抜きにして決定する事はその決定に無責任になってしまふ。理事は多忙であつても会議を開き緊急の事態にも対応していくべき役職、立場にある。

土地開発公社が管理する金額は、多額に上っている。理事一人一人が市民の財産管理という重責を真剣に担っていく自覚を低めるべきではない。

賛成討論

要旨

後期高齢者医療制度廃止を求める意見書の提出を求める請願について、次の点で賛成する。

この制度の根本は膨れ上がる医療費の国の負担を減らす事が目的であり、75歳以上の高齢者に保険料や医療費の負担、受けられる医療の中身の制限など差別医療を押し付けるものである。低所得者への減免などわずかな手直しをしても到底国民の納得を得られるものではない。参議院ではすでに廃止法案が可決されている。国民の反対の声にしっかりと向き合い厳し

い高齢者の暮らしを考慮するのなら、直ちに廃止するしかない。

消費税の税率引き上げ反対を求める意見書の提出を求める請願について、次の点で賛成する。

消費税は、所得から消費に回す割合が高い低所得層ほど重い税金であり、消費税の増税は、所得税の最高税率や株式課税の引き上げなどと比べても消費を冷やすものである。広範な国民が直面している生活苦のなかで取られるべき政策ではない。

請願の結果

市議会に提出された請願は、委員会審査を経て9月24日の本会議で採決し、3件を採択しました。

採択された請願

「妊産婦健診・出産費用の実費負担を国の責任で無料にすること」を求める請願

上尾市本町1 1 5

代表者 遠山ビル215

代表者 新日本婦人の会上尾支部

代表 和田真理子氏

廃食油の有益活用

上尾市井戸木4 16 11

代表者 カーポート異業種交流会

事務局長 羽田実氏

独立行政法人都市再生機構が2009年4月の家賃値上げを行わないことを求める意見書提出に関する請願

上尾市大字瓦葺2716

代表者 尾山台団地自治会

会長 尾上 道雄氏 他262名

今議会で決まった人事

固定資産税評価審査委員会委員に

藤倉 芳武氏

横塚 勉氏

固定資産税評価審査委員会委員

藤倉 芳武氏と横塚 勉氏の任期が平成20年9月30日で満了となるため、両氏を再び選任することについて同意を求められ、全会一致で同意しました。

藤倉 芳武氏 / 82歳

住所は上尾市大字壺丁目178

横塚 勉氏 / 79歳

住所は鴻巣市下谷297 1

教育委員会委員に

野澤 治雄氏

野澤 治雄氏 / 70歳

住所は上尾市大字上野477 5

河合 悦子氏 / 61歳

住所は上尾市本町2 7 23

人権擁護委員に

松澤 美智子氏

欠員中の人権擁護委員の候補者に松澤美智子氏を推薦することについて意見を求められ、全会一致で異議なき旨答申しました。

松澤 美智子氏 / 52歳

住所は上尾市大字壺丁目239

平成20年9月定例会提出議案とその結果

市長提出議案（35件）

=賛成 ×=反対 =賛成・反対

議案番号	件名	議決結果	新政	共産	公明	民主	無会派
議案第54号	平成19年度上尾市一般会計歳入歳出決算の認定について	継続審査					
議案第55号	平成19年度上尾市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	継続審査					
議案第56号	平成19年度上尾市工業住宅団地開発事業特別会計歳入歳出決算の認定について	継続審査					
議案第57号	平成19年度上尾市公共下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	継続審査					
議案第58号	平成19年度上尾市老人保健特別会計歳入歳出決算の認定について	継続審査					
議案第59号	平成19年度上尾市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	継続審査					
議案第60号	平成19年度上尾市水道事業会計決算の認定について	継続審査					
議案第61号	平成20年度上尾市一般会計補正予算（第2号）	原案可決		×			
議案第62号	平成20年度上尾市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	原案可決					
議案第63号	平成20年度上尾市介護保険特別会計補正予算（第2号）	原案可決					
議案第64号	平成20年度上尾市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	原案可決					
議案第65号	二ツ宮の区域を新たに画することに伴う関係条例の整理に関する条例の制定について	原案可決					
議案第66号	公益法人制度改革三法の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について	原案可決					
議案第67号	地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について	原案可決					
議案第68号	上尾市税条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決					
議案第69号	上尾市長期継続契約を締結することができる契約を定める条例の制定について	原案可決					
議案第70号	上尾市立つくし学園条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決					
議案第71号	上尾市難病患者等に対するホームヘルプサービス手数料条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決					
議案第72号	上尾市福祉作業所条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決					
議案第73号	中国残留邦人等の円滑な帰国の促進及び永住帰国後の自立の支援に関する法律の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について	原案可決					
議案第74号	上尾市水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決					
議案第75号	工事請負契約の締結について	原案可決					
議案第76号	工事請負契約の締結について	原案可決					
議案第77号	財産の取得について	原案可決					
議案第78号	財産の取得について	原案可決					
議案第79号	町の区域を新たに画することについて	原案可決					
議案第80号	市道路線の認定について	原案可決					
議案第81号	市道路線の認定について	原案可決					
議案第82号	市道路線の廃止について	原案可決					
議案第83号	上尾市土地開発公社の定款の変更について	原案可決		×			
議案第84号	固定資産評価審査委員会委員の選任について	原案同意					
議案第85号	固定資産評価審査委員会委員の選任について	原案同意					
議案第86号	教育委員会委員の任命について	原案同意					
議案第87号	教育委員会委員の任命について	原案同意					
諮問第3号	人権擁護委員の候補者の推薦につき議会の意見を求めることについて	異議なき旨答申					

議員提出議案（10件）

議案番号	件名	議決結果	新政	共産	公明	民主	無会派
議案第18号議案	「協同労働の協同組合法（仮称）」の速やかなる制定を求める意見書	原案可決					
議案第19号議案	社会保障費を毎年2,200億円抑制する方針の撤回を求める意見書	原案否決	×		×		
議案第20号議案	原油価格高騰に伴う支援対策の拡充に関する意見書	原案可決					
議案第21号議案	「消えた年金」を早急に解決し、「最低保障年金制度」の実現を求める意見書	原案否決	×		×		
議案第22号議案	学校耐震化に関する意見書	原案可決					
議案第23号議案	ヒトT細胞白血病ウイルス1型（HTLV-1）関連疾患に関する意見書	原案可決					
議案第24号議案	道路財源の「一般財源化」に関する意見書	原案可決					
議案第25号議案	太陽光発電システムのさらなる普及促進を求める意見書	原案可決					
議案第26号議案	「妊産婦健診・出産費用の実費負担を国の責任で無料にすること」を求める意見書	原案可決					
議案第27号議案	独立行政法人都市再生機構が2009年4月の家賃値上げを行わないことを求める意見書	原案可決					

委員会提出議案（1件）

議案番号	件名	議決結果	新政	共産	公明	民主	無会派
委第1号議案	上尾市議会会議規則の一部を改正する規則の制定について	原案可決					

請願（6件）

請願番号	件名	議決結果	新政	共産	公明	民主	無会派
請願第4号	後期高齢者医療制度の廃止を求める意見書提出に関する請願書	不採択	×		×		
請願第5号	「妊産婦健診・出産費用の実費負担を国の責任で無料にすること」を求める請願	採択					
請願第6号	廃食油の有益活用	採択					
請願第7号	独立行政法人都市再生機構が2009年4月の家賃値上げを行わないことを求める意見書提出に関する請願	採択					
請願第8号	後期高齢者医療制度の廃止を求める請願	不採択	×		×		
請願第9号	「消費税の税率引き上げ反対を求める意見書」の提出を求める請願	不採択	×		×		

新政 = 新政クラブ（13人）、共産 = 日本共産党上尾市議会議員団（5人）、公明 = 公明党上尾市議団（5人）、民主 = 民主クラブ（3人）、無会派 = 会派に所属しない議員（4人）

市政に対する一般質問

ここが問題 そこが聞きたい

行財政一般

スポーツ都市宣言の 今後の役割は

問 昭和51年にスポーツ都市宣言を行い、ホームページでも掲載され、総合計画の中でも初めに掲載されていることからスポーツに力を入れている市であると推測しているが、単なる象徴的なもの、それとも宣言をもとに行財政3カ年実施計画の施策へと続くものなのか都市宣言の位置づけ、役割について伺いたい。

答 スポーツ都市宣言をした昭和51年頃は、人口急増により大きく変貌、発展した時期で、地域社会の急激な変化に対し、市民が一体となったまちづくりの必要性が求められていた。昭和42年に埼玉国体が開催され、さらに昭和49年には上尾高校野球部が夏の甲子園初出場で3回戦に進出する



上尾駅東口のスポーツ都市宣言の塔

など郷土意識の醸成とともに市民のスポーツへの関心を高める大きな要因になった。このような状況の中でスポーツを通じて地域住民の交流を深め、生き生きとした健康で明るいまちづくりを進める契機となるようスポーツ都市宣言を行ったものである。

今後は、団塊の世代がいかに第二の人生を生き生きと迎えるかといった、いわゆる2007年問題や少子高齢化への対応など、多種多様な生涯スポーツへの取り組みが重要であると認識している。

9月定例会の一般質問は、9月11・12・16・17・18日の5日間行われ、21人の議員が登壇し、市政全般58項目にわたって市当局の見解を求めました。

また、5日間で230人の皆さんが議会を傍聴しました。一般質問の主な内容は次のとおりです。(各議員の一般質問の中から1項目のみを掲載しました)

非核平和都市宣言に 対する考えは

問 非核平和都市宣言は、今年6月1日までに1、4、6自治体が、県内では76市町が宣言をしている。上尾市においては、

駅前の平和標語の横断幕や成人式での憲法手帳の配布、市役所ロビーでのパネル展などが取り組まれてきた。こうしたさまざまな創意ある取り組みが、市民、国民の平和を守る力になっている。国内外に核兵器廃絶と平和を守るために行動することを宣言した市として、非核平和都市宣言に対する考えを伺いたい。

答 非核平和都市宣言は、世界の恒久平和と安全を願い我が国の非核三原則、核兵器を持たず、つくらず、持ち込ませぬの完全な実施と核保有国に対し核廃絶を求めるものである。しかしながら、宣言から20年以上の年月が過ぎた現在も、いまだ

世界各地の戦争や武力戦争は絶えず、核廃絶には至っていない。今後も非核平和都市宣言の趣旨に基づき施策を進め、恒久平和を希求する姿勢を示していきたい。

後発医薬品（ジェネリック医薬品）の普及を

問 後発医薬品は、巨額の研究費を投じて開発された先

発医薬品の特許が切れたあと厚生労働省の承認を得てほかの製薬会社と同じ成分で製造したもので、研究開発費が高額にならないなど、新薬に比べ2割から7割と格安になる。

答 後発医薬品の普及は、患者負担の軽減、医療保険財政の改善に資するものと考えられるが、日本での数量シェアは平成18年度で16・9パーセントであり、欧米諸国と比較して普及が進んでいない。

こうした状況を踏まえ、厚生労働省では平成19年10月に後発医薬品の安心使用促進プログラムを策定し、メーカーや国の取り組みを明確にし、後発医薬品の数量シェアの目標値を掲げたり、普及に向けたポスターやパンフレットの作

9月 定例会の 一般質問

質問順に掲載（本文の記事は順不同）

田中 元三郎

- ・上尾市の生活道路の整備
- ・広域清掃工場の協議会
- ・上尾市内の遊休耕地

清水 義憲

- ・公園の施設
- ・コールセンター

- ・教育行政
- ・危機管理

深山 孝

- ・行財政問題

渡辺 綱一

- ・上尾伊奈斎場つつじ苑とその周辺対策
- ・ニューシャトル原市駅の周辺整備

- ・市内における防犯の現状と対策
- ・上尾市の消防行政

武藤 修

- ・ぐるっとくんの充実
- ・大谷小前の道路拡幅
- ・地産地消と学校給食

長沢 純

- ・市役所窓口の簡素化
- ・安全な通学路
- ・図書館の有効活用

成など使用促進に向けた取り組みを始めたところである。

市民課窓口の申請書類の簡素化は

問 現在、上尾市では印鑑証明、戸籍謄本、住民票の申請書は、それぞれ別の用紙になっている。平成18年3月議会で提案があった申請書の一本化について、その後の進ちょく状況を伺いたい。

答 印鑑証明、戸籍謄本、住民票などの申請を1枚の用紙を用いて行う、いわゆる集合申請書の導入については、メリット・デメリットを比較検討した。メリットは、住所、氏名などの記載が1カ所で済み、申請する方にとっては時間の短縮になる。デメリットの1点目は、3種類の申請用紙を1枚に収めるため、文字が小さくなり見づらいという点である。2点目は、それぞれ法律が異なるので、注意事項を混同して読まれることがある。3点目は、申請件数、発行部数、手数料について、申請ごとに仕分けが必要なため、その日の集計処理に時間がかかる。4点目は、申請書の開示請求の場合、目的の申請書の抽出に時間がかかるという結果である。以上のことから、ひな形を作成しながらも見送った経緯はあるが、

集合申請書の導入に向け検討していきたい。

教育

中学校給食のコストは

問 学校給食は、各種の法令を遵守し、栄養バランスはもとより食育や地産地消も踏まえ、安全で安心な給食を安く提供することが求められる。給食業務の運営方法の見直しが必要と思われるが、上尾市の中学校給食1食あたりのコストを伺いたい。

答 本市の中学校給食は、中学校給食共同調理場と各中学校の給食室で調理するセンターサテライト方式により給食を調理している。中学校給食の費用については、学校給食法に基づき、学校給食の実施に必要な施設および設備に要する費用並びに人件費、修繕費は、施設設置者である市の負担とし、食材にかかわる費用は保護者負担としている。平成19年度決算ベースでは、市が負担する経費は、約3億4,730万円、保護者および教職員などの給食費が約3億1,927万円であり、合計すると約6億6,657万円となる。これを1食あたりに換算すると5

中学校給食共同調理場の機器類のトラブルの現状は

問 中学校給食共同調理場は平成5年1月に稼働し、約15年経過しているが、最近どのようなトラブルが発生したか、また1学期に調理機器が故障した時はどのように対応したのか伺いたい。



トラブルが発生した炊飯システム機器(中学校給食共同調理場)

85円となる。送する際に使用する食缶を洗う洗浄機に故障が発生し、手洗い作業にて対処したこともある。7月のトラブルに際しては、ライン上の炊飯釜から手作業で配送用食缶に移し替えて米飯を提供したが、2校においては主食をパン食で対応した。

西側への第2図書館構想は

問 図書館本館については、昭和56年に開館され、これまで建物の改修、駐車場の整備など行ってきたが、閲覧室や調査室、書籍の管理棚など大変手狭になってきている。行財政3カ年計画では、第2図書館について位置づけられているが、まだ具体的な計画にはなっていない。

答 市民から期待される新しい機能を備えた23万都市にふさわしい第2図書館の建設が急務と考えている。建設に向けては、規模、機能など実効性のある具体的に詳細な検討を進めなくてはならない。資料館など文化施設との複合も視野に入れ、全体構想の中で魅力ある第2図書館の建設に向け引き続き検討していきたい。

答 中学校給食共同調理場は経年劣化が随所に見られ、特に大型厨房機器類に顕著に現れ、今年7月に炊飯システム機器が故障するトラブルが発生した。炊き上がった状態の炊飯釜がライン上に放置された状態で緊急停止し、炊飯機能がストップした。その他の最近発生した主なトラブルは、調理済みの食材を各学校に配

道下 文男

- ・財政健全化施策
- ・障害者施策
- ・高齢者にやさしい街づくりにおける社会参加促進施策

池野 耕司

- ・ごみ処理の現状と今後の対応

遠藤 朝子

- ・上尾市民球場の利用状況と向上策
- ・介護保険制度の充実を

佐野 昭夫

- ・都市計画の土地利用計画制度と行政指導と支援

井上 茂

- ・路上喫煙の防止に関する条例

東町学童保育所の大規模解消

- ・歩行者専用信号機の設置(東町2丁目地内)

平野 佳洋

- ・市制施行50周年を迎えた上尾市の今後の街づくり
- ・市内循環バスぐるっとくんの新規路線の拡充

中

- ・中学校給食共同調理場の現状

糟谷 珠紀

- ・環境基本計画にもとづく環境施策

- ・上尾駅周辺整備計画と中山道東側地区市街地再開発

文化財の管理・保管・保護は

問 文化財保護法によって、地方公共団体は、文化財の管理、修理、復旧、公開、その他保存および活用に要する経費について補助できる。

市内には、これまでの歴史、文化、生活の中で多くの文化財や史跡があると思うが、その中で文化財の仏像の指定状況について、管理、公開、維持、支援方策について伺いたい。

答 市指定文化財の中で、仏像は平方領々家の清真寺、原市の相頓寺、平塚の密蔵院などに所在する12件を指定している。こうした文化財の仏像の保管状態は、寺や地域のお堂に保管されているのが一般的で、人の住んでいない場所に保管されているものも多く見られる。

市指定文化財を保護、継承していくための支援方策は、上尾市文化財保護条例に基づき補助金を交付している。管理に関する支援の一つは、適切な保存を図るための維持交付金である。仏像については、予算の範囲内で交付となっておりが平成19年度から予算縮小のため交付していない。今後、交付を再開できるよう努力していきたい。



密蔵院の日光(右)・月光(左)菩薩立像(市指定有形文化財)

福祉・保健

介護保険料の引き下げを

00万円となる。介護保険料の引き下げについて伺いたい。

答 高齢者が住み慣れた地域で安心して継続的に介護保険サービスが受けられるよう、平成21年度から平成23年度までを期間とする第4期計画の策定に努めているが、この趣旨である準備基金からの繰り入れを前提に、施設の整備目標や給付費などの推計を見ながら適正に算出し、できる限り負担増にならないよう努力していきたい。

保育所にガラス飛散防止フィルムを

問

保育所の保護者から「最近地震が多くて保育所の耐震化がとて心配だ。大石保育所は耐震診断が必要なので後回しにされている。ガラスが多く見通しがよいが、飛散防止フィルムが張っていないのでガラス割れが心配でたまらない」という声があった。大石保育所の保護者会から直接要望書が届けられていると思うが、飛散防止フィルムの施工は約650万円(未実施保育所分)の予算できると聞いている。保育所に飛散防止フィルムを張ってほしいとの要望について伺いたい。

答

大石保育所の保護者会から要望書をいただいている。

折しも中国四川省の地震、岩手・宮城内陸地震で大きな被害があり、保護者の方には不安なことと思う。地震対策はガラスの飛散防止フィルムだけでは万全ではなく、保育所、幼稚園、小・中学校、他の公共施設などにも考慮し、ガラス飛散防止フィルムを含め市全体で対応を検討しながら、計画的に対策を進めていきたいと考えている。

高齢者が安全に歩ける「バリアフリーロードマップ」の作成を

問

わずかな勾配でも、車いすの方やついで歩く高齢者には危険であり、外に出やすい安心して歩ける歩道の整備を要望している。しかし、予算の厳しい中で市内全体の整備は難しい状況にある。そこで、高齢者などが安心して歩けるための安全な歩道、また危険個所が分かるような「バリアフリーロードマップ」を作成してはどうか。

答

平成18年6月に高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律が成立し、ハードとソフト両面にわたるバリアを取り除き、安全で快適に暮らせる福祉のまちづくりを進めていくことが求められている。

平成20年5月、上尾市障害者支援計画策定委員会が設置された。

- ・ 公契約
- ・ 武藤 政春
- ・ 上尾市の行財政運営
- ・ 福祉行政の充実
- 岡田 武雄
- ・ 文化財(仏像)
- ・ 上尾伊奈線
- ・ 道路改良
- ・ 原市沼川
- 町田 皇介
- ・ 財政
- ・ 教育
- ・ 3つの都市宣言
- 鴨田 幸子
- ・ 医療費抑制対策
- ・ 市の駐車場有効利用
- ・ 母と子にやさしい上尾市に
- 橋北 富雄
- ・ 環境問題
- ・ 充実した消防体制と防災
- ・ 非核平和
- 秋山 かほる
- ・ 来年度の予算編成
- ・ 上尾駅改修工事
- 秋山 もえ
- ・ 公的な保育を充実させるための支援を
- ・ たちばな荘のその後の経過
- ・ 平方のどろいんきよを原指定に
- 西村 テル子
- ・ 平和
- ・ 防災

環境・産業

が、この分科会の1つに、安心安全な環境づくりの分科会がある。計画案の中に道路環境の整備の項目があるので、「バリアフリーロードマップ」について提案していきたい。

つつじ苑の大規模葬儀における駐車場対策は

問 上尾伊奈斎場つつじ苑の駐車場の問題について、年に数回であるが大規模な葬儀、特に通夜において自動車駐車場に入りきらず周辺道路に渋滞を引き起こしている。

敷地内の駐車場は、障害者用を含め142台、マイクロバス8台が駐車できるが、通路にもあふれ、(仮称)瓦葺コミュニケーション施設の用地で最大100台としても限りがあり、ひどいときには県道さいたま栗橋線まで渋滞することがある。これらの解消策をどのように考えているのか伺いたい。

答 大規模な葬儀が行われたときには交通渋滞を起し、近隣の方々に迷惑をおかけしていることは認識している。今後指定管理者をはじめとして、登録業者や葬儀責任者に対し、特に大規模葬儀における近隣対策を行

うよう指導強化を図っていく。

(仮称)瓦葺コミュニケーション施設の工事が始まるとあふれる車で近隣の生活道路まで影響を及ぼしかねないため、臨時駐車場を工事期間中も利用できるよう、施工方法や施工手順を検討し、対応していきたい。

地産地消の取り組みは

問 新潟県胎内市黒川地区(旧黒川村)は、農畜産加工施設の運営とハムやソーセージの製造に重点を置き、施設の若手職員を国際農友会の派遣制度を活用したヨーロッパの農業研修に参加させるなど人材育成にも積極的だったことが知られている。ほか

の多くの自治体と違う部分は、施設のすべてが村営(現在は市営)で、働いている人も村の職員であることだ。自治体運営として、黒川地区で実践されているような、特に特産品や自主品牌製品の開発など地産地消の取り組みについて伺いたい。

答 本市には黒川地区で行われているような市営でのソーセージ工場などの取り組みはないが、現在市内の酪農家が各種のエラーを製造販売しているケースがある。今後、農業協同組合や商工会議

所とも協力しながら、開発意欲のある事業者に対して援助していきたい。

市内循環バスぐるっとくんとくんの充実を

問 市内循環バスぐるっとくんに関する市民の要望は、1時間に1本、朝夕2本の増便のほか、原市南、瓦葺、藤波などの再延伸、上平地域から桶川駅への接続、西上尾第一団地、第二団地の外周道路や東側つつじ苑への乗り入れなどがある。東西循環を内回り、外回りにして、時間の短縮をしてほしいという要望もあり、CO₂の削減にもつながる。こうした市民の要望に対しての考えを伺いたい。



新型の市内循環バス ぐるっとくん

答 増便に関する要望に対しては、大石循環と大谷循環

でおおむね1時間に1本運行しているが、これ以上の増便はバス車両の導入が必要となり難しい。原市南、瓦葺などの路線の延伸については、運行距離と時間の兼ね合いが問題となり、今後全体のバランスを調整しながら検討していきたい。また、西上尾第一団地、第二団地の外周道路への延伸については、民間のバス路線との競合の問題もあり、現時点では考えていない。

路上喫煙の防止に関する条例を早急に

問 路上喫煙防止の条例は、目的、エリア、罰金と3つのことが決まればすぐにできると思う。目的は吸殻のポイ捨て防止ではなく、隣の人やタバコを吸うことにより受動的に煙を吸ってしまう受動喫煙や、やけどや衣服の焦げなどを防止し、市民の安全を守ることにありたい。

答 条例制定は駅周辺の整備が終わったらやるということだが、駅の改修と全く別個の性格だと思つので、この条例の目的とどうすり合わせをしているのか伺いたい。

され、路上喫煙禁止区域の設定や喫煙所の設置、喫煙表示看板などの工事など駅周辺整備の進捗よく状況を踏まえて検討する必要があると考えている。

バイオマススタウン構想の導入は

問 バイオマススタウン構想は、今まで燃やしたり捨てていたものを再利用、製品化することにより循環型社会の形成、地球温暖化防止、新たな産業振興、市や地域の活性化に貢献するのが主な目的である。

答 バイオマススタウン構想を策定した自治体は、地域のまちづくりを推進する上で、地域に存する動植物から生まれた再生可能な有機性資源である畜産資源や食品資源、林産資源、農産資源などを活用して、農業や林業を含めた地域経済の活性化を図ることを目的に導入している。

今後、国・県の動向や社会情勢を見極めながら、他自治体の事例を参考に、詳細な調査研究を行うことが重要と考えている。

都市整備

はなみずき通りのアンダーパスの災害対策は

問 記録的な豪雨を観測した本年8月、はなみずき通り（小敷谷吉田通線）のアンダーパスが冠水し、進入した車が1台動けなくなった。約2分間、停電で排水ポンプが作動しなかったと聞いたが、冠水時の対策について伺いたい。

答 はなみずき通りのアンダーパスの排水については、平成14年9月の集中豪雨でポンプ室の冠水被害があり、電気配電盤、ポンプ制御盤の改修、排水管のサイズアップおよびポンプ2台の同時運転などの対策を講じた。さらに、安全対策として、冠水時ににおける通行車両への危険周知のためのパトライトも設置した。また、ポンプ設備の安全稼働のための定期的な保守点検業務を欠かさず行っている。

今後の対策としては、停電時の非常用発電機の設置のほか、警戒水位に達したときに発光するパトライトが見づらいなどの指摘があり、発光ダイオードなどを使用した目立つ標識の設置も併せて検討していきたい。



矢印が通行止を知らせるパトライト（はなみずき通り）

道路後退用地の整備を進めるには

問 幅員4メートル未満の道路に面した敷地に住宅を建築する場合、道路の中心から2メートルまで境界を後退する必要はあるが、後退した部分に車を置いたり花壇にしたりして道路整備が進まない例がある。何らかの条例の施行により、道路整備の趣旨に沿い進むように考える必要があると思うが、市の見解を伺いたい。

答 市では平成4年度から「上尾市建築行為に係る道路後退用地整備要綱」を定め、建築主および土地所有者に対し、後退用地を市に寄附していただけるようお願ひしている。しかしながら建築基準法には道路の中心から2メートルの後退義務はあるが、

後退用地の寄附の義務はなく、その管理は建築主および土地所有者にある。今後は、建築確認時に窓口で後退用地の寄附を積極的にお願ひし、事情により寄附できない場合は、市と後退用地無償使用承諾書を取り交わすなどして、市で管理できるよう考えている。また、現状に合った要綱の見直しを行い、後退用地の整備がスムーズに推進できるよう努めていきたい。

五番町街づくり協議会の経緯は

問 五番町の街づくり協議会設立の経緯について、背景と進ちょく状況と今後の見通しについて伺いたい。

答 五番町は、昭和52年に土地区画整理事業を完了した地区であり、これまで低層住宅が立ち並ぶ閑静で良好な住環境を形成していたが、平成18年度にマンション建設計画浮上によるトラブルが発生したことを契機に街づくり協議会検討組織が結成された。その後、平成19年12月28日付けで上尾市街づくり推進条例に基づき五番町街づくり協議会が認定された。現在、早期の地区計画策定を目指し、ワークショップを中心に調査、検討を行っている。また、今後のスケジュールは、市民、事業者、市による協働のモ

と、五番町にふさわしいまちづくりを見出すべく、今年度中に骨子を作成し、来年度中の都市計画決定を目指しているところである。

中山道東側地区市街地再開発は

問 景気が明らかに悪化する中で、市の財政も、団塊世代の大量退職による税収の減少や、再び交付団体となった状況の中にある。それでも駅舎の改修という巨額箱物事業を当初の計画通りに推進することは果して市民にとつていいのだろうかという疑問について質してきた。

駅周辺整備計画事業と平行して進めている中山道東側地区再開発計画の進ちょく状況、課題などについて、市はどういう見通しを持っているのか伺いたい。

答 上尾中山道東側地区再開発組合の今年度の事業予定は、実施設計を終え、権利変換と既存建物の除却工事に着手となっていた。しかし、近年の鉄鋼、原油価格の上昇により、建設費が予想を超えて大きくなり、コストダウンのため設計変更などの事業計画の見直しを行うと聞いている。新しい事業計画に沿って平成23年には再開発ビルの竣工となる予定とのことである。今後の再開発を取り巻く周辺経

済の予想は困難だが、よりよいまちづくりを目指し、引き続き再開発組合に対し支援していく。

上尾駅改修工事でなくなった送迎用駐車スペースは

問 駅改修工事は、材料費や燃料費の高騰の中で4年かかる工事の見直しがあるのか。そして、追加予算が必要な場合には、JRに応分の負担をさせるべきかと思うがいかがか。

さらに、駅改修工事に伴い東西駅前、特に西口は工事が始まってスペースがとられ、送迎用駐車スペースがなく市民はたいへん困っている。送迎用駐車スペースを早急に確保すべきと思うが、考えを伺いたい。

答 もの値段が連鎖的に高騰しているが、現在のところJR東日本上信越工事事務所から材料費高騰に伴う工事費への影響に関する報告はなく、施行協定締結時の予算で賄えると判断している。工事の進ちょく状況から、工期内に予定通り完成できると考えている。駅前広場の一般車両の乗降場は、東口には百貨店側に一般車両用の乗降場が設置されているが、西口駅前広場にはないことから、警察および関係機関と設置に向け協議していきたい。

傍聴席からひとこと

議員の地域を良くしたいとの強い思いが伝わる

市民生活に大きな影響を及ぼす市議会の実態を知りたいと思い初めて傍聴しました。

多岐にわたる質問事案の中で、特に財政問題の健全性は全国自治体平均よりかなり高いとのこと安心しました。今後更なる行政の透明化と無駄を排除した財政運営に努めてほしい。

各議員の地域を良くしたいとの強い思いが質問内容から伝わってきました。

貴重な体験をしました。



はやし すすお
林 澄雄さん
(上)

地域要望の切実さが込められた一般質問に感謝



しのづか のぶひこ
篠塚 信彦さん
(原市)

傍聴は2回目です。地元選出議員さんが、上尾伊奈斎場やニューシャトル原市駅の周辺整備対策、市内の防犯対策について質問されました。

満席の傍聴人の中、一般質問が行われていましたが、議員の質問に地域要望の切実さが込められており、たいへんありがたく思いました。

これからも粘り強く質問していただき、市民要望の実現をお願いしたいと思います。



委員会活動

H20.7.16 H20.10.15

◀文教経済常任委員会の上尾駅改修工事現地調査の様子

委員会名	月・日	案 件
総務常任委員会	9.8	●9月定例会提出議案7件、請願2件を審査
文教経済常任委員会	9.9	●上尾駅改修工事及び大石小学校耐震補強工事を現地調査後、9月定例会提出議案1件、請願1件を審査
建設水道常任委員会	9.8	●9月定例会提出議案7件を審査
福祉消防常任委員会	9.9	●9月定例会提出議案10件、請願3件を審査
議会運営委員会		●議会運営について協議(協議回数4回)
決算特別委員会	9.5	●正・副委員長の互選及び審査方針の決定
	10.2	●一般会計のうち歳入及び歳出(総務関係)
	10.7	●一般会計のうち歳出(福祉、消防、経済関係)
	10.8	●一般会計のうち歳出(文教、建設関係)
	10.14	●財産に関する調書、特別会計
	10.15	●水道事業会計、総括
議会報編集委員会	7.18	●「あげお議会だより 143」の内容について協議
	9.3	●会議録検索システム、行政視察について協議
	9.24	●「あげお議会だより 144」の内容について協議
	10.15	●「あげお議会だより 144」の内容について協議

意見書8件を原案可決

9月定例会最終日の9月24日、議員提出議案として意見書10件を提出し、8件を可決しました。可決した意見書の件名と提出先は次のとおりです。

「協同労働の協同組合法(仮称)」の速やかなる制定を求める意見書

提出先 内閣総理大臣、総務大臣、厚生労働大臣、経済産業大臣、衆議院議長、参議院議長

原油価格高騰に伴う支援対策の拡充に関する意見書

提出先 内閣総理大臣、総務大臣、財務大臣、経済産業大臣、国土交通大臣、衆議院議長、参議院議長

学校耐震化に関する意見書

提出先 内閣総理大臣、文部科学大臣、衆議院議長、参議院議長

ヒトT細胞白血病ウイルス1型(HTLV-1)関連疾患に関する意見書

提出先 内閣総理大臣、厚生労働大臣、

衆議院議長、参議院議長
道路財源の「一般財源化」に関する意見書

提出先 内閣総理大臣、総務大臣、国土交通大臣、衆議院議長、参議院議長
太陽光発電システムのさらなる普及促進を求める意見書

提出先 内閣総理大臣、環境大臣、衆議院議長、参議院議長

「妊産婦健診・出産費用の実費負担を国の責任で無料にすること」を求める意見書

提出先 内閣総理大臣、厚生労働大臣、衆議院議長、参議院議長

独立行政法人都市再生機構が2009年4月の家賃値上げを行わないことを求める意見書

提出先 内閣総理大臣、総務大臣、国土交通大臣、衆議院議長、参議院議長、都市再生機構理事長

* 次回の12月定例会は、
12月2日に開会の予定です。

請願、陳情、要望の提出期限は、11月26日(水)までとなります。

詳しくは、議会事務局(☎775-9467)へお問い合わせください。

なお、上尾市議会ではインターネットを利用した議会中継を行っております。

上尾市議会ホームページアドレス
<http://www.city.ageo.lg.jp/shigikai/>

～議会報編集委員～

- 嶋田 一孝、町田 皇介、箕輪 登
- 新井 金作、長沢 純、井上 茂
- 糟谷 珠紀、秋山 もえ